

食育講演会開催報告

「SDGs」の視点から広がる 「食育」の推進

講師：杉並区立八成小学校(前 杉並区立西田小学校 校長)

こどう つなし
小堂 十 先生

令和2年11月27日(金)、東京都学校給食会館において食育講演会を開催しました。今回の講演会は、新たな試みとして、ウェブ上でリアルタイム配信も行いました。

講演の始めに、参加者への事前アンケートの結果を基に、学校給食現場におけるコロナ禍での工夫や努力についての情報共有を行いました。この中で、配膳～喫食、片付け等に至るまで、各学校で様々な学びがあったと同時に、課題や問題点が浮き彫りになりました。このコロナ禍の課題をどう食育につなげ解決するか、そのために私たちは何ができるのか考えることも「SDGs」との共通点であると述べられました。

小堂先生は、これまで難民問題や国際交流、絵手紙や東日本大震災が起きた際はチャリティーコンサートを開催されるなど、教科書だけでは学べない「人」とのつながりをテーマとして実践してこられました。2016年4月西田小学校の校長として着任された際には、ESD推進校として、全教育活動を持続可能という視点から柔軟に変えていくことに取り組みされました。ESDとは、持続可能な社会の担い手を育む教育のことです。このESDを推進することが「SDGs」の達成につながっています。

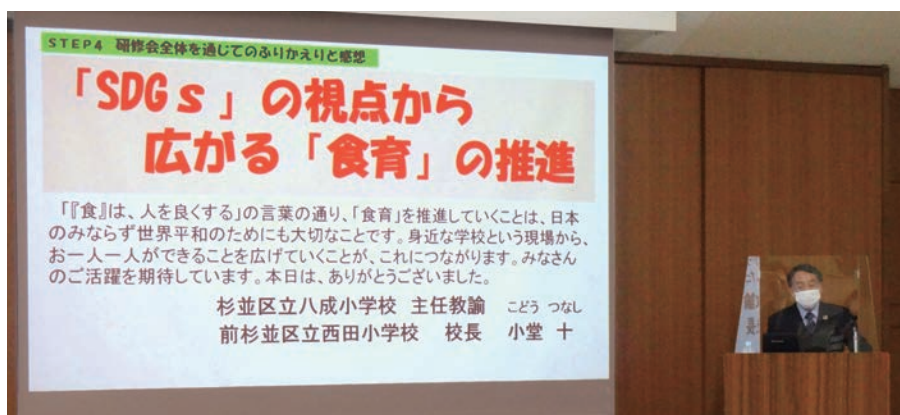
「SDGs=持続可能な開発目標」とは、発展途上国のみならず先進国も取り組む2030年までの国際的な目標で、持続可能な世界を実現するための17の開発目標と169のターゲットから構成されています。17の開発目標

は、一つ一つが相互に関連してつながりを持っています。

また、食育と「SDGs」の関係についての解説と、小堂先生の前任校である西田小学校の栄養士・三戸部貴美子先生の食育推進事例^(※)のご紹介がありました。最後には、会場の参加者との質疑応答があり、「SDGs」の視点を持った食育推進をするための「壁」はどのようなものがあるか、どのようにクリアしていけば良いか、情報交換する場面もありました。

「『食』は、人を良くする」の言葉のとおり、「食育」を推進していくことは、日本のみならず世界平和のためにも大切なことです。生きる上での基本であり、知育、徳育及び体育の基礎となるべき「食育」と、「SDGs」が掛け合わさることで、持続可能な社会の担い手を作りだしていきます。身近な学校という現場から、一人一人ができることを広げていくことが大切です。これからのご活躍を期待しています。とのお話をいただき、講演会は盛況のうちに終了しました。

※なお、杉並区立西田小学校の栄養士・三戸部先生の食育推進事例について、本紙P.2-3「学校紹介」にて詳細をご紹介しますので、是非ご覧ください。



お詫びと
訂正

広報「とうきょうとの学校給食No.452」4ページ
文京区及び墨田区におきまして、誤りがございました。
お詫びして、訂正いたします。

	実施月数	
	誤×	正○
文京	9	10
墨田	9	10